三　中学校費教職員数	密度補正に用いる密度は、次の算式によつて算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式 $\frac{B + C + D}{A \times 5{,}909{,}000}$ 算式の符号 A　測定単位の数値 B　次の算式によつて算定した額（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。） 算式 41,900 × b1 × b2 算式の符号 ［略］ b2　スクールバス等の数に 145.68 を乗じて得た数を、符号 b1 の数値で除して得た数（小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。） C　次の算式によつて算定した額（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。） 算式 1,025,000 × c1 ×（c2 + c3） 算式の符号 ［略］ c2　当該都道府県の区域内の市町村の地域手当の地域区分が 100 分の 20 地域の市町村にあつては 1.025、100 分の 16 地域の市町村にあつては 1.020、100 分の 15 地域の市町村にあつ	B　次の算式によつて算定した額 算式 $\sum_{n=6}^{7} \{A_n \times (1 - C_n / B_n) + D_n \times (1 - F_n / E_n)\}$ $A_n \times (1 - C_n / B_n)$ 及び $D_n \times (1 - F_n / E_n)$ に整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。 ［略］ ［略］
三　中学校費教職員数	密度補正に用いる密度は、次の算式によつて算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式 $\frac{B + C + D}{A \times 5{,}847{,}000}$ 算式の符号 A　測定単位の数値 B　次の算式によつて算定した額（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。） 算式 36,900 × b1 × b2 算式の符号 ［同左］ b2　スクールバス等の数に 160.76 を乗じて得た数を、符号 b1 の数値で除して得た数（小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。） C　次の算式によつて算定した額（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。） 算式 1,101,000 × c1 ×（c2 + c3） 算式の符号 ［同左］ c2　当該都道府県の区域内の市町村の地域手当の地域区分が 100 分の 20 地域の市町村にあつては 1.023、100 分の 16 地域の市町村にあつては 1.019、100 分の 15 地域の市町村にあつ	B　次の算式によつて算定した額 算式 $\sum_{n=5}^{7} \{A_n \times (1 - C_n / B_n) + D_n \times (1 - F_n / E_n)\}$ $A_n \times (1 - C_n / B_n)$ 及び $D_n \times (1 - F_n / E_n)$ に整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。 ［同左］ ［同左］